

神奈川大学資格教育課程通信

第 42 号

編集・発行 神奈川大学資格教育課程センター運営委員会
〒 221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
☎ 045-481-5661 (代) 内 2051

メンタルヘルス向上と共生社会の実現を担える教員養成の推進

人間科学部教授 百瀬 容美子



©シロタコウジ

今年度より着任いたしました百瀬容美子と申します。私は、心理臨床の立場から、人間理解とそれに応じた心理支援法・教育法を追求してきました。心（感情、思考、認知方略など）と動作遂行（日常動作、机

上学習、スポーツ活動などに着目して、心身の自己制御、心の健康増進、自己実現といった人の生活に直結する貢献を目指しています。こうした専門性を活かして、教職課程で担いたいことは、メンタルヘルスの向上と共生社会を実現できる教員養成を推進することです。

「教員になりたい」学生のためのサポート

経営学部教授 関口 昌秀



©シロタコウジ

が59単位という線は変わっていない。牧歌的だといったが、簡単に教員になれたという意味ではない。事実は逆で、「氷河期」とよばれた。神奈川県中学校数学1名。当時の募集人員である。だから教員になりたい学生の多くは私立高校の教員となった。

実はわたし自身は教員免許状を持っていない教職課程の変わり種である。制度上、教職課程の教員に教員免許状は必要でない。ただし文部科学省による審査があり、担当教員としての確

神大の教職課程に着任したのは1997年。当時は学部の授業なども担当していた。牧歌的なところがあった。この間に法改正が進み、本学では免許状取得のための教職科目は10単位くらい増えた。ただし免許状取得の根幹をなす教科及び教職の科目の合計単位数の最低

教授し、多様な児童生徒とその生活背景を共感的に理解できる教員を養成いたします。さらには、授業や全体集会など集団場面を活用して、心身の自己制御ができる児童生徒を育ててもらうように、集団思考での具体的方法も伝授します。メンタルヘルスは、児童生徒だけでなく教員にとっても重要事項です。教員を目指す学生自身のメンタルヘルスにも奏功するような授業を展開していきます。

共生社会の実現については、日本の特別支援教育に纏わる現場で、障がい生徒と健常生徒との包括学習が必要だと十分に理解されているにも関わらず、「授業の進行速度を遅らせてしま

認は得ている。だから理科の免許状を持っていないくても、理科の教科教育法を担当できるわけである。

当時の状況としては、次のようなこともあった。他大学を含めて一般に、教職課程を履修する学生は今より断然多く、しかもその大多数が免許状の取得のみを希望し、卒業後すぐに教員を志すという訳ではなかった。これでは、教育実習で頑張ろうとする学生の少ないことが想像できるだろう。実習校への内諾依頼も一つの問題だった。そこで

本学では、教育実習に向けて十分な準備ができた学生だけが教育実習に望めるような仕組みを設けた。教員になるためには、教員免許状の取得と教員採用試験の合格が必要である。

す。つまり、障がいの有無、年齢層、性差、運動学習段階の違いを超えて、多様な価値観をもった人々をつなぐ方策になるのです。共生社会の具現化には、発想の転換が必要なのです。

以上のように、自分の持ち味を生かして、メンタルヘルスの向上と共生社会の実現を担える教員を輩出していきます。知識と技能をつなぎ合わせる体験型教育を取り入れながら、学ぶことが楽しいと実感してもらえよう尽力して参ります。私自身、学生が気づきを得た時にその感覚を共有しあえる機会が嬉しく、また楽しくもあり、教員養成に携われていることに感謝しています。

するので、この仕組とマッチしている。

学生諸君には、教育心理学の授業でも言ったように、職業選択は人生の一大選択で、それは自分の意志で決めること。大いに迷ってもよい。人生は長い。あえて回り道をしろとは言わないが、ゆったり構えることも必要であろうと伝えたい。

神奈川大学教職課程の先生方には、これまでも学生が教員になることのサポートを真剣に考えてきたわけだから、これからもそう行っていただくことを願う。

わたし自身は2025年3月で教職課程教員として区切りを迎えるが、あと少し特任教員としてお手伝いする予定だ。

表 1 2024 年度教職課程登録者・内諾者・教育実習者数

	1 年次	2 年次	3 年次		4 年次			大学院			科目等履修生		
	仮登録	本登録	本登録	内諾	本登録	内諾	実習	本登録	内諾	実習	本登録	内諾	実習
法 学 部	31	16	0	8	0	0	9	0	0	0	0	0	0
経 済 学 部	43	22	1	25	1	1	20	0	0	0	0	1	1
経 営 学 部	12	10	0	9	0	0	3	0	0	0	0	0	0
外 国 語 学 部	36	29	3	17	0	2	26	0	0	0	0	0	1
国際日本学部	43	23	2	19	0	0	6	0	0	1	0	0	0
人 間 科 学 部	91	53	0	34	0	1	27	0	0	0	0	0	2
理 学 部	95	67	0	34	0	5	29	0	1	1	0	1	0
工 学 部	33	16	0	8	0	3	11	0	0	0	0	0	1
建 築 学 部	7	3	0	0	0	0							
化学生命学部	21	9											
情 報 学 部	11	10											
計	423	258	6	154	1	12	131	0	1	2	0	2	5

注：1.「内諾」は 2025 年度教育実習の「内諾依頼者数」を示す。
2.「実習」は 2024 年度教育実習の「実施者数」を示す。

表 2 2024 年度教員採用試験合格者数

	在学生	卒業生
法 学 部	0	1
経 済 学 部	2	3
経 営 学 部	0	0
外 国 語 学 部	8	6
国際日本学部	0	1
人 間 科 学 部	5	7
理 学 部	6	4
工 学 部	6	0
計	27	22

富谷 玲子

2024年度
教職課程教育実習記録より

2024年度、全国の中学校・高等学校の協力のもと138名が教育実習を行いました。実習生は、「教育実習記録」に気づきや学びをまとめています。実習校の先生方からは温かいご指導を記載していただいています。実習生の声と先生方からのご助言を抜粋して紹介します。

◆合計14回の授業を中学3年生のクラスでさせてください。はじめは「時間内に範囲が終わらない」「単元の要点を押さえていない」など悲惨な状況だった。しかし、指導の先生から様々な指導をしていただき、最後には最低限の授業はできるようになった。生徒に毎回感想を聞くと、授業回数を重ねるほど「分かりやすくなった」との言葉をもった。

(法学部)

成長する姿を見られることこそ、教員のやりがいだと感じた。

◆先生方にはお忙しい中研究授業以外でも授業見学でプリントを用意していただいたり、教材を貸していただいたりするなど充実した学びとなるよう支えてもらいました。

また、生徒理解のために職員室で不登校になりがちな生徒を共有したり、生徒指導に取り組まれている姿を見た

●社会教育実習を終えて
成長の印

人間科学部人間科学科 3年 藤田 悠菜

私は公益財団法人ハーモニセンターで、子どもと馬が触れ合うキャンプに参加しました。この実習先は、子どもたちの「体験による成長」に力を入れている団体です。

長野県の蓼科高原でのキャンプ（4日）と、相模原麻溝公園ふれあい動物広場（1日）での実習を行いました。キャンプでは計画の段階から参加したことで、カウンセラーとしてキャンプを創り上げるプロセスを学びました。事前に行う3回のミーティングで「どんなキャンプにしたいか」イメージを擦り合わせ、キャンプ中に行うプログラムも一人一人意見を出し合いながら構築していきます。

私は今回の実習で、行動力や主体性を伸ばし「自分の殻を破る」という目標を立てました。その目標を達成するために、積極的な点呼や、子どもたちへの指示を行いました。また、初めて関わる集団に自ら飛び込み関係性を築くことで、仲間

に頼られる存在になることができたと思います。キャンプを終え、子どもたちが成長していく姿や沢山の笑顔

り、大学では学べなかったことを学ぶことができたと思います。

(経済学部)

◆教育実習で一番感じたことは、いつも完璧で最善だという授業プランは存在しないということだ。クラスごとに異なる生徒ひとりひとりの状況によって、同じ授業をしたとしても毎回生徒の反応は変わってくる。常に教員はその日の1時間の授業をより良いものにするために生徒や授業と向き合い、こだわり続けなければならぬと思った。

◆3週間でクラス全員の特徴をつかむことはできなかったですが、活発な生徒の特徴をつかむことはできました。クラスを受けもったときに、生徒の特徴、交友関係、進路希望などを把握しておく必要が

(外国語学部)

あることを体感できました。で、生徒の個性が発揮されるクラスづくりができるように、

指導教諭指導・助言欄より

◆「型」を作って毎回それに従い授業を進めることは、教員側も準備がしやすく一貫性のある指導もでき、生徒も安心感を持ちます。しかし、毎回変わり映えしないようだと、生徒が飽きてしまったり

◆「自分らしさを出せる仕事」が教員を目指した理由と

◆「型」を作って毎回それに従い授業を進めることは、教員側も準備がしやすく一貫性のある指導もでき、生徒も安心感を持ちます。しかし、毎回変わり映えしないようだと、生徒が飽きてしまったり

(高校・英語科)

◆「自分らしさを出せる仕事」が教員を目指した理由と

◆授業では、理科の面白さを生徒に伝えることについて話をしました。先生なりに単元の面白さを見つけ、授業で伝えようとしていました。真摯に授業づくりに取り組む姿は素晴らしいです。

(理学部)

◆「型」を作って毎回それに従い授業を進めることは、教員側も準備がしやすく一貫性のある指導もでき、生徒も安心感を持ちます。しかし、毎回変わり映えしないようだと、生徒が飽きてしまったり

◆「自分らしさを出せる仕事」が教員を目指した理由と

(中学・理科)

◆「自分らしさを出せる仕事」が教員を目指した理由と

◆「自分らしさを出せる仕事」が教員を目指した理由と

◆「自分らしさを出せる仕事」が教員を目指した理由と

(高校・情報科)

●博物館実習を終えて
学芸員として働くためには

歴史民俗資料学研究所 1年 石田 健太

2024年8月、私は長野県の松本市立博物館で5日間の実習を行いました。松本市立博物館は歴史、民俗、生物などを対象にした総合博物館であり、重要有形民俗文化財などのコレクションも充実しています。

実習の中で博物館活動の3本の柱である資料の収集・調査・展示を中心に体得しました。普段、展示を観覧者側からみているが、実習を通して展示の作成過程の一端を知ることができました。実習で作業させていただいた資料調査やフィールドワーク、資料の取り扱い方など、博物館の多くの裏側の作業が組み合わさって一つの企画展が作られていることがわかりました。

実習で特に印象に残ったことは、学芸員の方が博物館の資料を第一に考えられていたことです。一点モノの資料が多い博物館資料の特徴から、その資料を壊すことは情報の損失につながります。だからこそ、どんなに忙しくても、長い時間資料を整理していても、資料を乱雑に扱うことは決してあってはならないということを改めて認識しました。

ご多忙の中、実習を受け入れていただいた松本市立博物館の方々に御礼を申し上げます。

●日本語教育実習を終えて
日本語教育の道に進む理由

国際日本学部日本文化学科 4年 秋田 靖奈

横浜市中区の飛鳥学院で5日間の日本語教育実習を行いました。初めての教壇実習では不安が大きく、とても緊張しました。板書をする手が震えましたが、想像していた以上に飛鳥学院の学生たちの反応が良く、私の質問に一生懸命答えてくれたため学生とのやりとりを楽しむことができました。2回目の教壇実習では、学生の信頼と期待に応えられるようにできる限りのことをしっかりと教えるという気持ちが何よりも大きくなりました。授業後に「先生の授業、楽しかった。上手でした。」と言われ、これまで勉強してきた意義を実感することができました。

授業見学では、学生と話す時間が設けられました。学生が様々な質問をしてくれ、日本語を学びたいという熱意が強く伝わってきました。

私は6歳の頃に中国から来日し、日本の学校に入り、日本語が話せない不安や慣れない生活で不便を感じたことを経験しました。そのような、幼い頃の自分と同じ経験をしている人たちを助けたいと思い、日本語教員養成課程を履修しました。実習では自身が学生と同じ立場に立って日本のことについて話すことができました。異なる場所から来た、様々な背景を持った人たちが、同じ目標に向かって努力する姿がとても印象的でした。卒業後は一般企業へ就職をしますが、将来的には再び日本語教育の現場に戻りたいと思う気持ちが強くなりました。

神奈川大学 心理・教育研究論集

発行 神奈川大学教職課程研究室

第 56 号

論文

- ・ドイツにおける社会教育福祉学的な青少年育成 ―子ども・若者の貧困を中心として― 齊藤 ゆか
- ・晴眼者と視覚障害者の協働的・包括的な実践に向けた予備的研究 ―先天全盲児者向けに開発したイメージ生成指導法を取り入れた授業効果の検証― 百瀬容美子・今岡 多恵・藤木 晶子・小坪 昭仁

- ・社会に開かれた教育としてのサービス・ラーニング 市川 享子
- ・学校理科教育現場における事故事例とその対策 (7) 長島 宏希・加部 義夫
- ・高校生における「生きる力」の育成の検討 林 園子

研究ノート

- ・数学科の学びを生徒主体にすることについての一考察 伊藤 真人
- ―「教える」と「学ぶ」という2つの視点から考える―

指導法・実践報告

- ・高等学校における平方根指導の考察 榎本 里志
- ・文法事項を導入する模擬授業を2回行うことで得られる質的向上 萩原 一郎

第 57 号

論文

- ・乳幼児期・児童期・思春期・青年期における感情の発達 ―養育態度と感情制御の関連― 足立 英彦
- ・乳幼児期の愛着関係と思春期・青年期の感情制御の発達 足立 英彦
- ・高校生への心理教育 ―心理教育の学習指導への貢献に向けて― 荻野佳代子・徳永まゆ子・稲木康一郎
- ・子どもにとって「豊かな放課後」とは 齊藤 ゆか・佐藤 彩
- ・国語科 CR メソッドの開発に向けた指導法の検証 (2) ―ミクロ・アプローチを中心として― 澤口 哲弥
- ・児童生徒一人一人の問題意識を高める道徳科授業の工夫・改善 ―道徳科における「個別最適な学び」とは― 阿部 亮一
- ・学校理科教育現場における事故事例とその対策 (8) 長島 宏希・加部 義夫
- ・Singularity 以後の未来を見据えた算数・数学教育の設計 ② ―授業展開の指針― 生也
- ・大学におけるアクティブラーニングの可能性と授業時の活動の工夫について (第一報) 益田亜矢子

研究ノート

- ・教育課程編成における ICT の活用 ―高等学校情報科のあり方をめぐって― 大多和雅絵
- ・「介護等体験特例法」の成立過程 ―教員養成における「介護等体験」の導入をめぐって― 大多和雅絵
- ・中学公民 選挙の授業を考える ―シティズンシップ教育と民主主義― 鈴木 英夫
- ・動作法の体験学習を取り上げた心理教育講座における参加生徒の感想分析 百瀬容美子・今岡 多恵・伊東 明子
- ― 自助意識と自助行動の促進を目指して ―
- ・デンマークにおける市民的共同による政策形成 ―エルドラ・セイエンの活動分析から― 市川 享子
- ・これからの数学科教育のあり方についての一考察 ―数学科教育は情報科教育に代わられてしまわないか?― 伊藤 真人

指導法・実践報告

- ・工業系高校における教科指導と STEAM 教育の有用性に関する考察 後藤 博史・大戸 健一
- ・知識中心の「倫理」から考える「倫理」へ ―視聴覚教材、グループ討議などを利用して― 鈴木 茂樹
- ・英文読解に文法知識をどう活かすか (1) ―「読むための英文法」の試み 萩原 一郎
- ・ボランティア・ワークキャンプを契機とした大学生から社会人期の青年に対するユースワーク 磯田 浩司・仲山 友

後輩へのメッセージ

「教員・公務員採用試験合格者より」

横浜市 中学・高等学校 社会 合格

「ともに歩む、未来の教員として」

経済学部現代ビジネス学科 4年 栗山 皓平

ともに教員を目指す後輩の皆さんにお伝えしたいことがあります。

まず、仲間づくりを大切にする事です。同じ目標をもつ仲間と切磋琢磨することで、大きく成長できます。そして、大学内外や実習先で出会う教員志望の人たちとも積極的に交流することが大切です！

また、理想の教員像を考えることも大切です。これは、難しいことかもしれませんが、自分が教員を目指したきっかけや、使命、お世

最後に、先生方や資格教育課程課の皆様への感謝の気持ちを続けましょう。皆さんとともに教員として成長できる日を願っています。

「教師とは夢を語る職業」

神奈川県 中学校 英語 合格
外国語学部英語英文学科 4年 伊藤 賢伸

これを読んでくださっている皆さんに一つだけお伝えしようと思います。それは「夢」を語る人であってほしいということです。とんでもなく胡散臭い言葉ですが、これが大学生活4年間を過ごした私が後輩へ贈る言葉です。

いつかの授業で私の尊敬する先生から「教師とは夢を語る職業」だと教わりました。それは、未来ある子どもたちを相手にする教師は、どんな世の中であつて

最後になりますが、教員を目指す皆さんを心より応援しております。一足先に教師として現場で待っています。

横浜市 小学校 合格

「自分の可能性は自分で広げる」

外国語学部英語英文学科 4年 中里 遥

大学生生活を振り返り、将来の可能性を広げるのは自分自身だということを実感しました。だからこそ、大学生のうちに沢山の挑戦や経験をするとよいと思います。

私は、小学校でのボランティア活動の経験をきっかけに、小学校教員を目指すようになりました。そのため、中学校と高等学校の教員免許取得とは別に、本学の小学校教員養成特別プログラムを通して玉川大学の科目等履修生として単位を修得し、小学校の教員免許状を取得しました。

小学校でのボランティア活動の経験が無ければ、別の選択をしていたと思います。自分の行動次第で卒業後の人生は大きく変化します。学校ボランティアに行ったり、教員採用試験に向けて対策をしたり、時間を使いたいように使える大学生生活を、皆さんにも有意義に過ごしてほしいと思います。

私自身、経験が強みになり、自信に変わりました。ぜひ、沢山のことを自分で経験して自分で選択できる自信と根拠を持って教員を目指す皆さんが頑張れますよう応援しています。

川崎市 中学・高等学校 保健体育 合格

「何事も楽しんで！」

人間科学部人間科学科 4年 推名 晃大

「どうせするのなら楽しまなきゃ！」これが私の常日頃考えていることです。何か行う時や挑戦する際、日々の生活などにおいて、何かしら辛いことがあるかと思っています。でも私はそれらを全て楽しんでいきます。結局することが同じなら、ブルーな気分よりも楽しくハッピーな方がいいですよ。

教育実習や教員採用試験においてもそうです。授業関連の悩みや試験勉強、面接など大変なこともありま



後輩の皆さん、一緒に人生を楽しみましょう！

山形県 中学校 数学 合格

「努力を続ける過程」

理学部 数理・物理学科 4年 早坂 広寿

ある先生から「教師とは生徒にとって最も身近な大人の手本である」という言葉を聞いたとき、私はハッとさせられました。それまで教師を目指す中で、授業準備や指導技術を磨くことに一生懸命でしたが、この言葉を聞いてから、自分自身の姿勢や生き方が生徒に大きな影響を与えることに気づきました。

教員採用試験の勉強は決して楽な道ではありません。膨大な学習内容や教育実習で困難な場面に直面し、挫けそうになることもあるでしょう。しかし、努力を続けるその過程が、将来受け持つ生徒へのメッセージそのものとなり、「挑戦を恐れず努力する」という姿勢は、大人として大切な手本になると思います。

後輩の皆さん、「自分がどんな教師になりたいのか」という問いを常に心に持ち、そして、挫けそうになった時はこの問いを思い出してください。応援しています。

神奈川県 高等学校 情報 合格

「周囲と共に歩む教員への挑戦」

工学部情報システム創成学科 4年 富田 妃菜

教員採用試験に向けて取り組む中で、私は「日々の積み重ねが力になる」ことを強く実感しました。

学習計画や時間管理に工夫を凝らし、特に2次試験における面接対策では、自分の考えを整理して伝える力を磨くために模擬面接を繰り返し行いました。周囲の先生方や友人らの協力を得て、自信をつけていくことができたことと記憶しています。

教員採用試験勉強や教育実習は長期戦になりがちですが、一人で抱え込むのではなく、周囲のサポートを受けることで余裕が生まれ、

寒川町 事務職 合格

「様々な経験を通して」

法学部自治行政学科 4年 山田 陽斗

私は、社会教育課程を履修し「ここまで色々なことを経験している神大生は自分だけだ」と大学4年生になつて思えるようになりました。これは決して根拠のない自信ではありません。

川崎市子ども夢パークでの実習、シブヤ大学での講座の実施、かながわユースフォーラムの開催など特に「地域デザイン演習」で行った実習を通して、他者を想って企画する力やプレゼン力を身につけることができました。

これらの経験があったからこそ自信を持って公務員採用試験に挑戦し、合格することができたと思います。これを読んでいる後輩の皆さんも社会教育課程を通

じ、様々な経験から自分の強みや好きなことを見つけ、自信と共に目標に向かって頑張ってください。皆さんが満足のいく進路に進めることを願っています。応援しています。

編集後記

本学の資格教育課程センターでは、教員をはじめ、社会教育主事・社会教育士、学芸員、日本語教員等、教育や文化を豊かにする専門職育成に力を入れています。社会人として活躍する神大生の応援をお願いします。

齊藤 ゆか

2024年度 資格教育課程センター 運営委員会名簿

委員長

大西 勝也（教職課程）

副委員長

関口 昌秀（教職課程）

富谷 玲子（日本語教員養成課程）

【教職課程】

荻野佳代子

間山 広朗

百瀬容美子

安部 賢一

鈴木 英夫

鈴木そよ子

望月 耕太

【社会教育課程】

齊藤 ゆか

【学芸員課程】

山本 志乃

関口 博巨

安室 知

角南聡一郎

丸山 泰明

新垣 夢乃

廣田 律子

佐藤たまき

中川 理絵

【資格教育課程課】

渡邊 和佐

伊藤 光三

佐武亜紀子

胡麻 史奈

間島 祐紀

提水流 勇

庭野 真帆